


**2013年3月期
第2四半期
決算説明資料**

 **川澄化学工業株式会社**

2012年11月7日

2013年3月期 第2四半期決算の概要

2013年3月期 通期の業績見通し

トピックス

2013年3月期

前年同期比

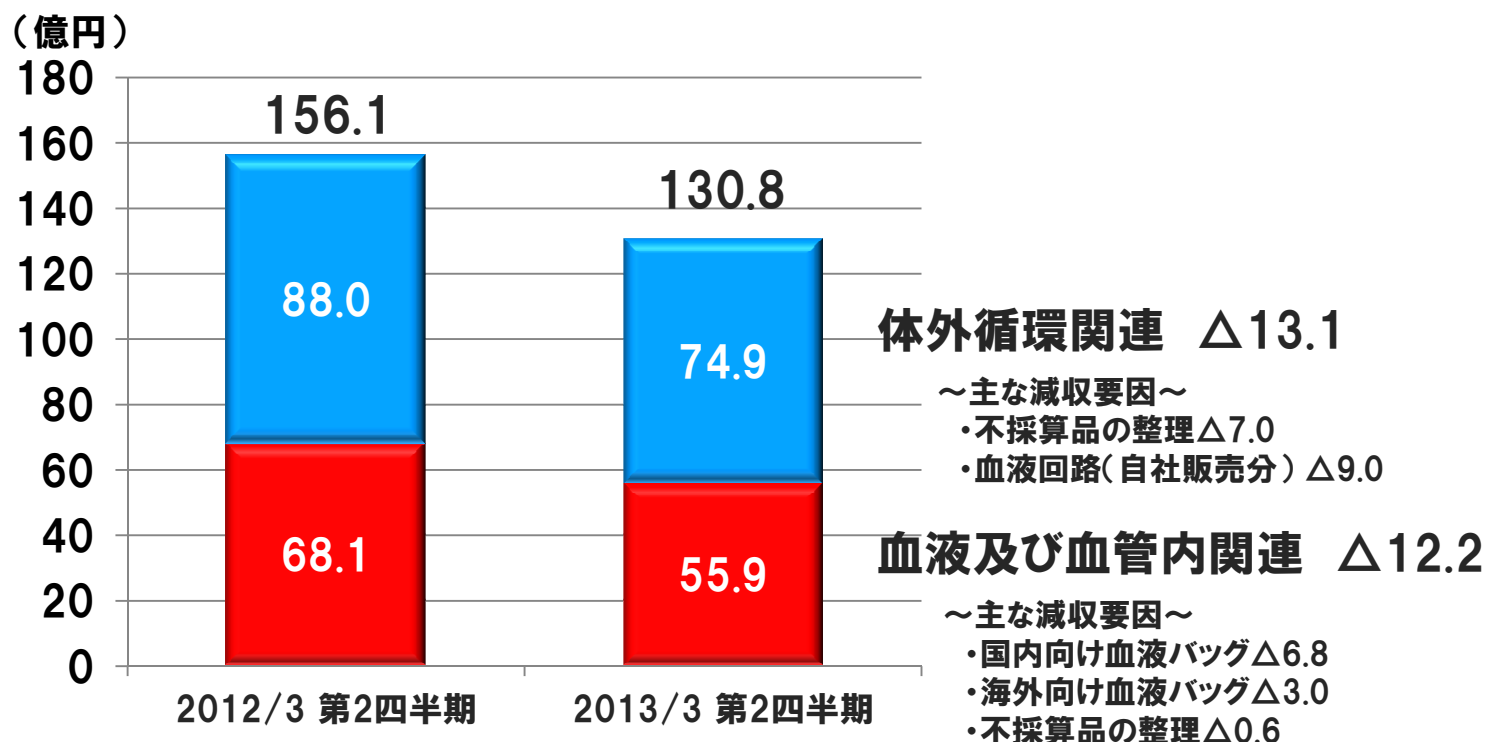
連結

金額：億円

	2012/3 第2四半期	2013/3 第2四半期	増減額	増減率
売上高	156.1	130.8	△25.3	△16%
売上総利益	51.1	40.6	△10.4	△20%
営業利益	10.6	1.0	△9.6	△90%
経常利益	8.7	1.7	△7.0	△80%
特別損失	0.0	5.4	5.4	
税前当期純利益	8.7	△3.7	△12.4	△143%
当期純利益	5.5	△4.1	△9.6	△174%
売上原価率	67.3%	68.9%	1.6%	

- ・売上高は、血液浄化製品やAVF針が前年同期に比べ増加したものの、不採算品を整理したこと(約8億円)、タイ洪水の影響を受けた血液回路や海外向け血液バッグの販売減(約11億円)、国内向け血液バッグが販売先の在庫積み増しの反落影響を受けたこと(約5億円)などにより、前年同期に比べ25.3億円の減少
- ・営業利益は、売上減少や代替生産にともなうコストアップなどにより、前年同期に比べ9.6億円の減少
- ・タイ洪水関連の特別損失として、タイ生産子会社の建屋の修繕費用などで4.0億円、供給義務遂行のために緊急的に準備した透析用血液回路の在庫の評価損で1.4億円、合計5.4億円を計上

売上高(セグメント別)



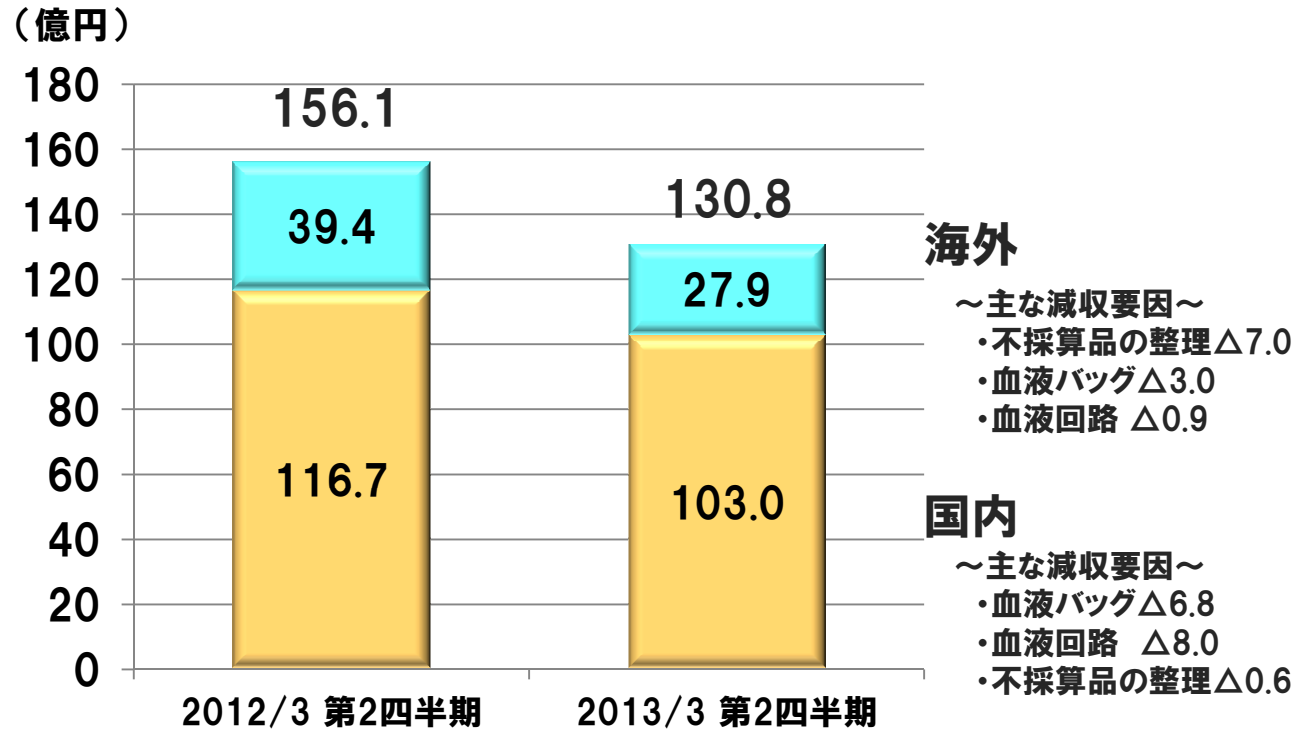
【血液及び血管内関連】

- ・タイで生産を再開した米国向け輸液セットが増加
- ・本年3月に販売先の在庫積み増しがあった反落で、国内向け血液バッグが減少
- ・海外向け血液バッグは、国内工場代替生産を継続しているが、供給数量が洪水前水準に及ばず、販売が減少

【体外循環関連】

- ・血液浄化製品やAVF針が増加
- ・不採算品の整理により、米国向けOEM血液回路が減少
- ・国内外の自社ブランド品の血液回路は、本年4月にタイ国内工場での生産が再開するも、回復の途上であり、前年同期比で減少

売上高(国内外)



【国内】

- 血液浄化製品の販売が増加
- 本年3月に販売先の在庫積み増しがあった反落で、国内向け血液バッグが減少
- 本年4月にタイ国工場での生産が再開するも、回復の途上にあり、血液回路が前年同期比で減少

【海外】

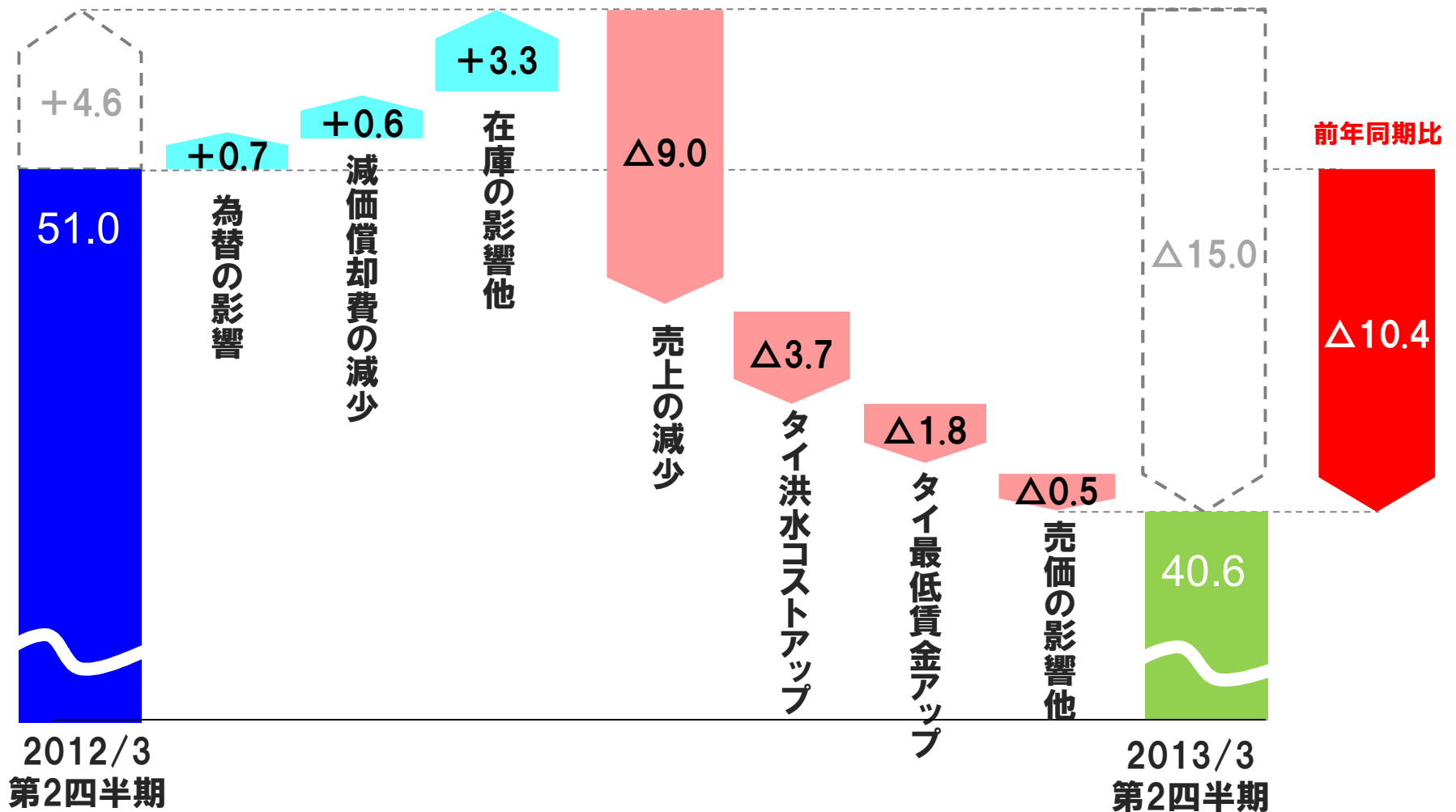
- AVF針や生産を再開した米国向け輸液セットが増加
- 不採算品の整理により、米国向けOEM血液回路が減少
- 代替生産にともなう供給数量減により、海外向け血液バッグが減少
- 為替のマイナス影響は約0.4億円(前年レート比)

2013年3月期

売上総利益の増減要因

<前年同期比>

(単位:億円)



2013年3月期

販売費および一般管理費

連結

金額：億円

	2012/3期 第2四半期	2013/3期 第2四半期	増減額
人件費	14.8	14.8	△0.0
運送費	6.3	5.5	△0.8
研究開発費	4.2	4.9	+0.7
その他	15.3	14.4	△0.6
合計	40.4	39.6	△0.8

- ・運送費は、出荷量の減少などにより前年同期比で減少
- ・研究開発費は、癒着防止材の治験開始などにより前年同期比で増加

2013年3月期

業績予想との比較

連結	第2四半期			
	業績予想 (8月7日開示)	実績	増減額	増減率
売上高	133.0	130.8	△2.2	△2%
売上総利益	43.5	40.6	△2.9	△7%
営業利益	3.5	1.0	△2.5	△71%
経常利益	2.2	1.7	△0.5	△22%
特別損失	6.0	5.4	△0.6	△10%
税前当期純利益	△3.8	△3.7	△0.1	△2%
当期純利益	△4.2	△4.1	△0.1	△3%
売上原価率	67.3%	68.9%	+1.6%	

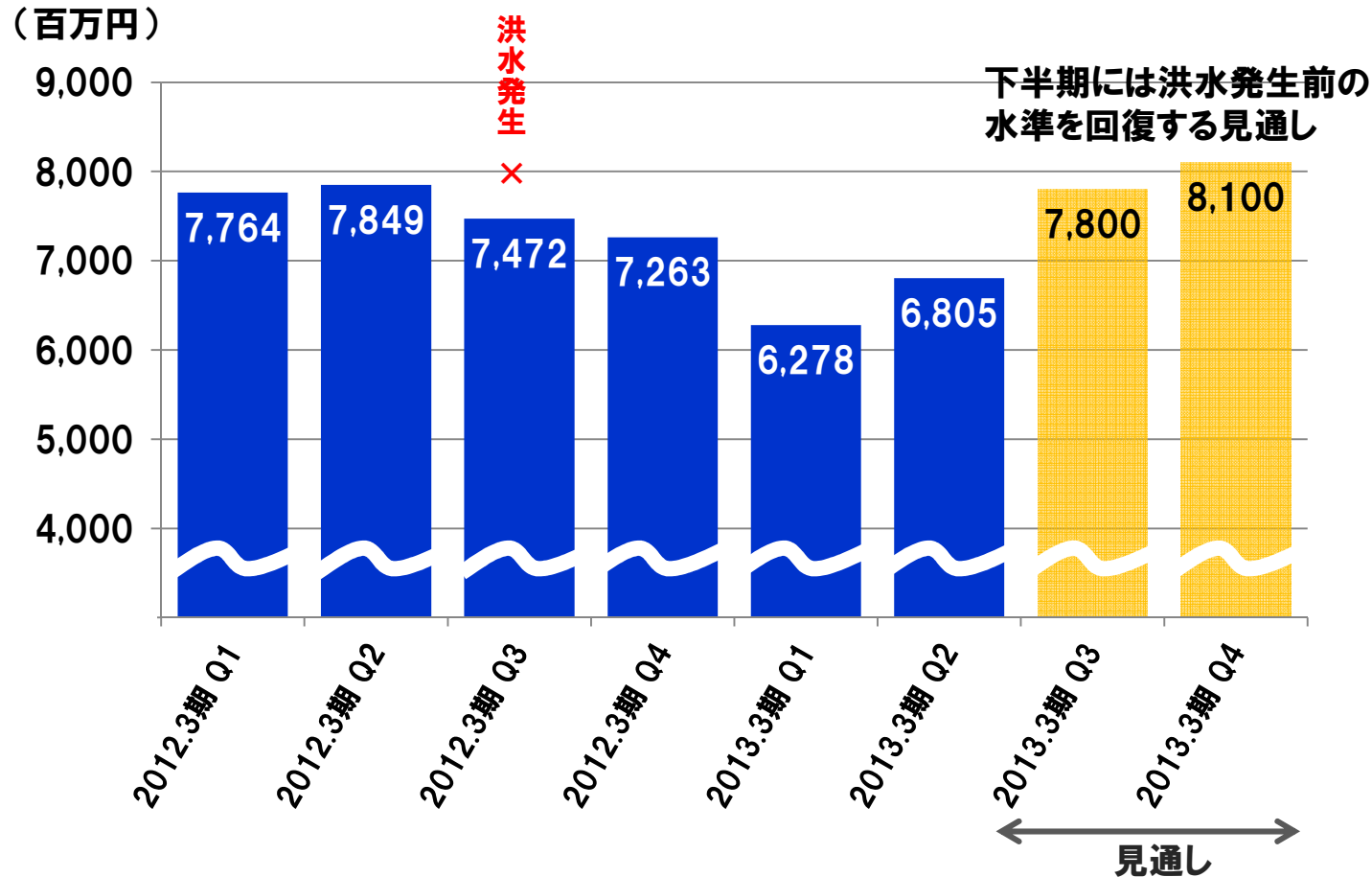
- ・売上高は、タイ洪水後の販売回復の進捗遅れにより約2億円の未達
- ・売上総利益は、売上減少と、コスト改善の遅れ等による原価上昇により原価率が1.6ポイント悪化し、約3億円の未達
- ・特別損失として見込んでいたタイ洪水復興にともなう修繕費の圧縮により、当期純利益は、ほぼ業績予想値なみの4.1億円の純損失

2013年3月期 第2四半期決算の概要

2013年3月期 通期の業績見通し

トピックス

売上の見通し



第3四半期以降は、国内向け透析用血液回路の規格対応によってシェア回復を図っていくこと、ダイアライザー、海外向け輸液関連製品等で拡販を見込んでいることなどで、下半期には洪水前の売上水準を回復する見通し

2013年3月期

業績見通し(連結)

通期

金額:億円

	2012/3期 実績	2013/3期 見通し	増減額	主な要因
売上高	303.5	290.0	△13.5	不採算品の整理△9、タイ洪水(日本向け血液回路、海外向け血液バッグ)
売上総利益	93.8	96.0	+2.2	
営業利益	14.6	14.4	△0.2	
経常利益	15.7	13.1	△2.6	
特別利益	30.6	0.0	△30.6	タイ洪水保険金
特別損失	23.6	6.0	△17.6	タイ洪水
税前利益	22.6	7.1	△15.5	
当期純利益	15.0	2.4	△12.6	
原価率	69.1%	66.9%	△2.2%	

- ・売上高は、国内向けの血液回路や海外向け血液バッグの販売が、タイ洪水前の水準に戻るのが来期以降になることや、不採算品を整理したことなどで13.5億円の減収見通し
- ・営業利益は、ほぼ前期並みを確保する見通し
- ・タイ洪水にともなう保険金は、受取金額が未定のため業績見通しには織り込まず

2013年3月期 第2四半期決算の概要

2013年3月期 通期の業績見通し

トピックス

タイ復興投資

- **海外向け血液バッグ**
 - 新工場をコラート工場敷地内に建設中。本年7月に着工し、来年5月竣工予定
 - 新工場稼働後には、洪水前の販売水準以上の回復を見込む。(生産能力は従来の1.5倍)

- **ユーティリティー棟**
 - 洪水被災したナワナコーン工場にユーティリティー棟を新設
 - 洪水リスクへの備えとして約2mの盛土を施した

- **射出成形棟**
 - コラート工場敷地内に、射出成形棟を建設予定。本年12月に着工し、来年9月竣工予定



ユーティリティー棟(ナワナコーン工場)



血液バッグ工場(コラート工場)

癒着防止材の治験開始

本年7月に第1例目の施術を実施し、トータルで130症例を実施予定

<治験の概要>

- 対象疾患 : 人工肛門造設予定患者
症例数 : 130症例
治験施設数 : 国内約10施設を予定



- 癒着防止材は、外科手術後の癒着を防止・軽減するため、損傷部位を保護するフィルム状の医療機器
- 国産初の上市を目指す当社品は、糖類及びポリ乳酸系ポリマーを素材にしており、水分に触れても直ぐに破れず、貼り直しができるなど、取扱性に優れている
- 治験終了後、2014年に承認申請を行い、販売開始は2015年度を計画

<癒着とは>

外科手術後などに損傷部位と健常組織の間で起こる、本来分離しているべき組織が接着してしまうことを癒着と言います。癒着が生じると、疼痛、術後合併症などの原因となったり、再手術の際の剥離が困難になり得ます。癒着防止材は、組織同士の接触を物理的に隔離することで、癒着を防ぎ、患者さんのクオリティ・オブ・ライフ向上に寄与します

ご注意

本資料中の将来にわたる記述は、現時点での推測・予測に基づくものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。このため、将来の業績について保証するものではなく、実際の業績が、経営環境の変化等により予測と異なる結果になることがありますことをご承知おきください。

川澄化学工業株式会社

本資料に関するお問合せ

川澄化学工業株式会社
経営企画室

TEL : 03-5769-2698

Email : webmaster@kawasumi.jp